

令和 8 年 6 月 15 日
大気海洋部

面的な気象データの一層の利活用促進に向けて
～デジタルアメダスアプリのデータ追加と利活用ガイドの公開～

デジタルアメダスアプリに海洋関連のデータを追加しました。また、アプリの利活用ガイドを公開しました。本アプリを通じ、自分のいる場所の気象状況を把握できる面的な気象データの利活用を一層促進いたします。

本日 6 月 15 日（月）より、デジタルアメダスアプリに、これまでにお寄せ頂いた改善要望にお応えし、漁業における海流の把握などに役立つ以下のデータを拡充しました。

- ・水温：海面、水深 50m 及び 100m（掲載済み）に加え、水深 25m 及び 70m を追加
- ・海流：水深 50m（掲載済み）に加え、海面、水深 25m、70m 及び 100m を追加
- ・塩分：新たに水深 50m のデータを追加

また、デジタルアメダスアプリの仕組みや使い方などを解説した「デジタルアメダスアプリ利活用ガイド」を公開しました。

URL：<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/digital-amedas/userguide.pdf>

気象庁では、今回追加したデータも含め、引き続き、幅広い分野において面的な気象データの利活用を促進してまいります。

（参考）デジタルアメダスアプリの仕組み

気象庁では、アメダスの観測値に加え、気象衛星ひまわりや気象レーダー等の観測成果を組み合わせ、全国の降水量や気温、天気などを格子状に分割して隙間なく解析（推定）した情報（面的気象情報）を作成しています。

デジタルアメダスアプリは、面的気象情報の格子ごとの数値をもとに、全国の任意の地点における降水量や気温、天気といった気象状況を具体的な数値として表示することができるツールです。

このアプリを通じて、様々な地域の気象特性に応じた面的気象情報の活用方法や課題等を調査し、デジタル社会の基盤的な気象データとして様々な社会・経済活動に活用されるよう、活用促進に取り組んでいます。

問合せ先：

（海洋データに関すること）

大気海洋部環境・海洋気象課海洋気象情報室 木村 電話 03-6758-3900（内線 4746）

（デジタルアメダスアプリに関すること）

大気海洋部観測整備計画課 伊藤 電話 03-6758-3900（内線 4266）